

令和8年2月8日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙公報(第3区 川口市の一部区域・越谷市)

埼玉県選挙管理委員会

中道改革連合

Centrist Reform Alliance

Profile 竹内千春プロフィール

1968年、宮崎県延岡市で居酒屋を営む両親の下、4人兄弟の末っ子に生まれる。大学卒業後、会社勤務を経て、アメリカで日本語教師をしながら、大学院で社会行政学、教育学を学ぶ。帰国後、短大の教員となる。教え子からセクハラの相談を受けたことをきっかけに35歳で一念発起し、41歳で弁護士になる。

一人ひとりの依頼者の苦しみの背景にある社会全体を変えていきたい、という思いから政治をめざす。

2024年10月の衆議院議員選挙で初当選。以来、地域の皆様一人ひとりの声に真摯に耳を傾け、その思いを国会へと届ける活動を一貫して続ける。

文部科学委員会、災害対策特別委員会、外務委員会、憲法審査会において委員を務め、現場に溢れる声を政策へとつなぐ役割を果たしてきた。

主な学歴

▶中央大学文学部文学科英米文学専攻卒業
▶ジョージアサウスイェスタン大学
社会行政学修士課程修了
▶ジョージア大学教育学修士課程修了
▶大宮法科大学院法務博士（専門職）
▶イリノイ大学ロースクール客員研究員

主な職歴

▶電通ヤング&ルビカム株式会社
▶南九州短期大学国際教養学科・助教授
▶紀尾井町法律事務所
▶のぞみ総合法律事務所
▶日本銀行決済機構局
▶日本弁護士連合会国際室・室長

あなたの声にこそ、政治を変える力がある

子ども・若者を大切にできる社会

- ◆教育の無償化を進め、学びの機会を保障・児童手当の拡充・奨学金返済の負担軽減
- ◆学童保育の拡充で安心して働ける環境づくり

安心して働ける社会

- ◆非正規雇用者の待遇改善
- ◆教員の働き方改革
- ◆保育士、介護職員、看護師等の待遇改善

高齢者が安心して暮らせる社会

- ◆介護支援の充実・高齢者の移動支援
- ◆孤立・孤独を防ぐ地域づくり

物価高騰から暮らしを守る経済政策

- ◆給付付き税額控除の導入・所得の再分配
- ◆中小企業への支援強化
- ◆電気、ガス料金への支援

個人が尊重される社会

- ◆選択的夫婦別姓制度の実現
- ◆障がい者の就労支援強化
- ◆高額療養費の限度額引き上げの凍結
- ◆ジェンダー平等の推進
- ◆多様な性を認め合う社会
- ◆多文化共生

政治改革を進め、利権政治を終わらせる

- ◆企業・団体献金の禁止
- ◆公文章の透明性を高める
- ◆国民の政治参加推進

竹内千春の目指す政策

一人世帯を支援する

- ◆夫婦・子ども世帯を標準としてきた税・社会保障制度の見直し
- ◆単身者も老後の不安なく、尊厳をもって生きられる社会制度の構築

持続可能な社会を次世代へ

- ◆災害対策と復興支援の強化
- ◆介護保険・年金制度の見直し
- ◆地域公共交通の活性化

人権が守られる公正な社会

- ◆再審法の改正（えん罪を防ぎ、正義を取り戻す司法へ）



中道改革連合
元教員
弁護士
竹内千春



日本の強さを、一人ひとりの豊かさに 自立と誇りある日本をつくる! 自民党

きかわだひとしプロフィール

昭和45年生まれ。55歳。埼玉3区で衆議院議員選挙5期連続当選。現在、高市内閣で内閣府特命担当大臣を務め12分野を担当する。元自民党国防部長、元衆議院外務委員長、元内閣府副大臣（経済財政）、元外務大臣政務官。国会議員になる前から海洋政策の研究者として活躍。現在も日本の海洋資源開発を政治の立場から牽引する第一人者。外交安全保障からこども政策など身近な課題まで、幅広く取り組むことができるオールラウンダー。東京理科大学工学部土木工学科卒。米国メリーランド大院修了（理学修士）。大阪大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得退学。越谷市在住。妻と長女の3人家族。趣味は剣道(2段)、空手(茶帯)、野球、スキー/バイキング、落語(十八番は長短)。



きかわだ ひとし

公式サイト



実績1 出入国管理と安全対策の強化

不法滞在やテロを防ぐため、電子渡航認証制度(JESTA)の前倒し導入を実現。観光税や在留資格手数料の見直しで出入国在留管理担当職員を増やし、審査の迅速化や不法滞在対策の強化にも取り組む。

実績2 国を守る防衛力の大幅な強化

厳しさを増す国際情勢を踏まえ、防衛費をGDP比2%に引き上げることを実現。次期戦闘機の英国・イタリアと共同開発を推進し、自衛隊員の処遇改善など防衛の人的基盤の強化にも取り組む。

実績3 責任ある積極財政への転換

日本の失われた30年間の経済財政政策のトレンドを変えるため、新たに「責任ある積極財政」を掲唱。将来世代に配慮しつつ、必要な財政出動を行う考え方を政府や自民党に粘り強く訴え続ける。

実績4 日本の海洋資源開発を前に進める

南鳥島周辺の海洋資源開発について、早い段階から重要性を訴え、取り組みを牽引。水深6,000mでのレアアース泥の試験掘削に必要な予算を確保し、今年1月にいよいよ実現した。

《衆議院議員5期》きかわだひとしの実績と取り組み

実績5 公立学校の環境整備を推進

全国の公立小中学校で、教室や体育館への空調設置、トイレの洋式化、特別支援学級の整備、老朽校舎の改修を進めるための予算を継続的に確保。あわせて、自治体がいやすい制度への見直しも実現した。

実績6 孤立・貧困を防ぐ居場所づくりを支援

年齢を問わず、悩みを抱えた人が気軽に立ち寄れる居場所づくりを後押し。こども食堂、フードコート、学習支援、まちの保健室など、食や相談を通じて、人と人をつなぐ取り組みを応援している。

実績7 プロスポーツを活かした地域活性化

JリーグやBリーグ等、プロスポーツチームがあることを核に、地域づくりのあり方を見直し、地域活性化につなげたい地域や団体を支援する新たな概念や制度を創設した。

実績8 議員外交による日本の存在感向上

各国の要人との意見交換を重ねるとともに、国際議会にも積極的に参加。日本の考え方や立場を直接伝え、国際社会における日本の信頼と存在感を高めている。

きかわだひとしのやるじ

「責任ある積極財政」を通じて着実な経済成長による「強い経済」を構築

「強い経済」から得た果実で物価高対策やこども政策など安心・安全な暮らしを実現

「地域未来戦略」を推進し越谷市や川口市の地域活性化も応援

「元祖・自民党海洋政策トッパンナー」として南鳥島レアアース開発を力強く牽引



衆議院議員候補
内閣府特命担当大臣
きかわだひとし

I am JAPAN ひとりひとりが日本

“3つの柱と9の政策”

1の柱 日本人を豊かにする ～経済・産業・移民～

1 “集めて配る”より、まず**減税**
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2 日本はまだ間に合う**“NO! 移民国家”**
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。

3 **現場の人**が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

2の柱 日本人を守り抜く ～食と健康・一次産業・エネルギー～

4 **食**は人の天なり
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決めて飢えることのない体制を整えます。

5 **エネルギーと資源確保が生命線**
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

6 **安心医療で健康国家**
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3の柱 日本人を育む ～教育・人づくり・国家観～

7 子ども一人につき**月10万円**
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。

8 **受験戦争**からの解放
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正當に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

9 **日本はみんなの家**
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は 参政党

とお書きください。

参政党の政策は ▶
こちらの特設サイトから!



中村なおこ プロフィール 北海道生まれ。埼玉県越谷市在住。婦人服販売員を経て心のカウンセラーへ。現在は主婦として暮らし、自然と動物を愛し、夫と犬と生活。子育てを通して感じた違和感から、国民の暮らしと健康が守られる社会を生活者目線で目指す。



なかむら
中村なおこ
参政党公認

第3区の選挙区域



18歳から投票できます。



2月8日(日)は投票日

期日前投票期間 1月28日(水)～2月7日(土)

小選挙区選挙は、候補者名を書いて投票します。

投票用紙は、浅黄色です。

投票所入場券が無くても、本人確認ができれば投票できます。

埼玉県選挙管理委員会では、選挙速報をホームページで公表します。

埼玉県選管

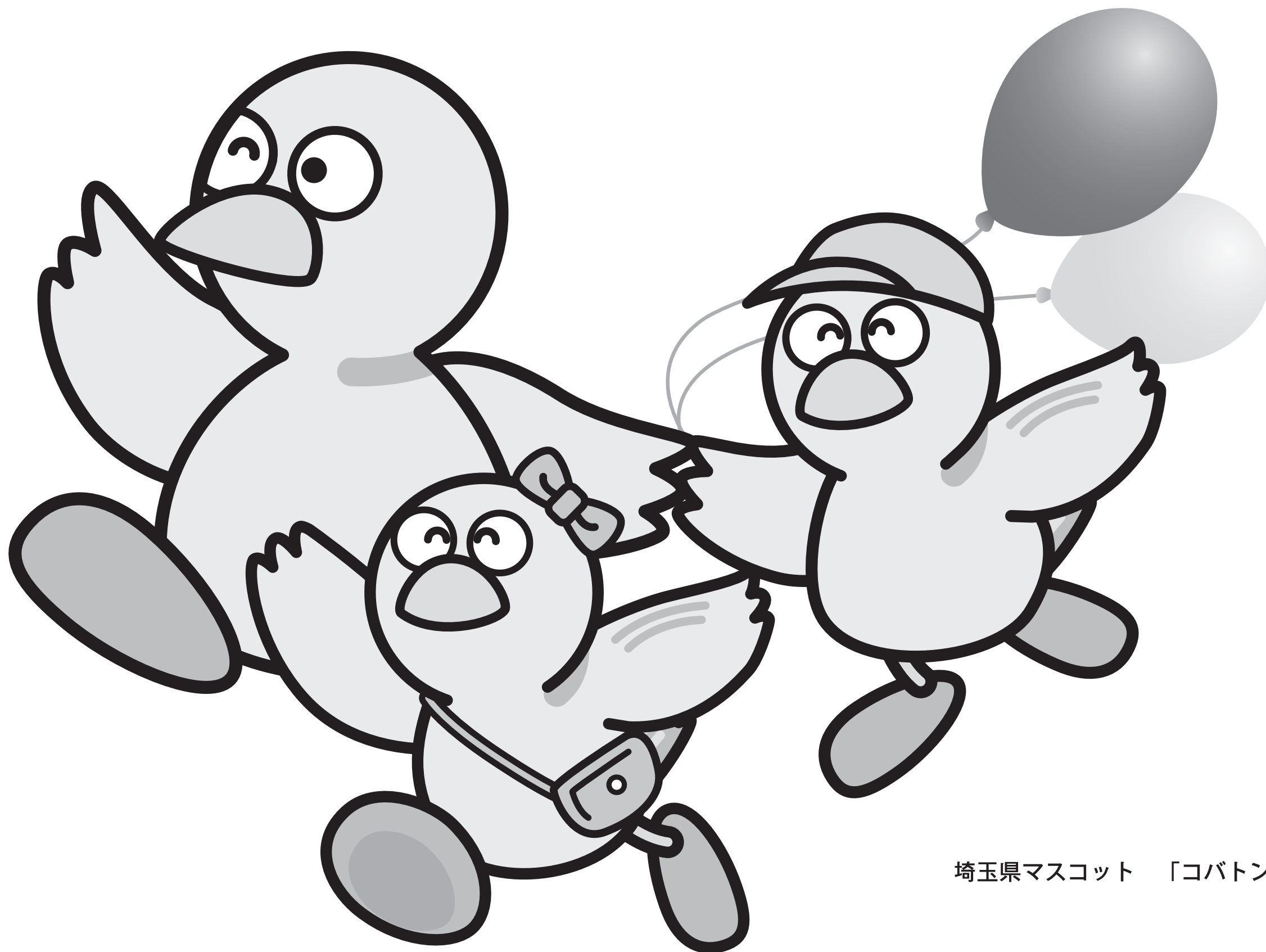
検索

埼玉県選挙管理委員会

投票日 2月8日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで ※投票所により異なる場合があります。

親子で投票にいこう



埼玉県マスコット 「コバトン」

投票所入場券が無くても、本人確認ができれば投票できます。

※マイナンバーカードや運転免許証等があると、手続きがスムーズです。

仕事や旅行など投票日に予定のある方は、期日前投票をご利用ください。

詳しくは、お住まいの市区町村選挙管理委員会へお問い合わせください。

期日前投票期間 1月28日(水)～2月7日(土)
午前8時30分～午後8時

※期日前投票所により期間・時間が異なる場合があります。

埼玉県選挙管理委員会の特設ページでは、期日前投票所や候補者情報など様々な情報を発信しています。

埼玉県選管

検索



埼玉県選挙管理委員会